

令和4年度第3回南丹市市民参加と協働の推進委員会議事録

日時：令和5年3月13日（月）午前9時15分～正午

場所：南丹市役所2号庁舎3階防災会議室

出席者：〔委員〕古北真里委員長、大束貢生副委員長、高橋博樹委員、

西田香代子委員、西田融正委員、平井静男委員

〔事務局〕岡部課長、北村係長、古田主事、矢野主事

1. 開会

事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今から南丹市市民参加と協働の推進委員会を開会いたします。</p> <p>本日の司会進行を務めさせていただきます地域振興課の岡部でございます。委員のみなさまには、ご多用の中ご出席たまわりましたことに厚くお礼申し上げます。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、古北委員長からあいさつをいただきます。</p>
-----	--

2. 委員長あいさつ

委員長	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、市と地域との協働活動がこの3年間で縮小してしまった部分もあるかと思ひます。</p> <p>当委員会としては、コロナ禍であっても地域と行政が密な関係を持って活発に活動できるよう、様々な議題に対して協議できればと思ひますので、みなさんの自由で活発な意見をよろしくお願いたします。</p>
-----	--

3. 協議

議題①「南丹市市民参加と協働の実施計画（令和4年度実績）」（報告）

事務局	<p>ありがとうございました。それでは、協議事項に入りますが、ここからの進行については、古北委員長にお願いたします。</p>
委員長	<p>では、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>まず、協議事項「議題①「南丹市市民参加と協働の実施計画（令和4年度実績）」について、事務局から説明をお願いたします。</p>
事務局	<p>「市民参加と協働の実施計画（令和4年度実績）」についてご説明いたします。</p> <p>本計画は、市民参加の機会や協働の視点でみた事業の情報発信を目的にパブリックコメントや審議会の委員公募、地域活動に活用できる補助金の案内などを一覧にしているものです。</p> <p>実施計画は計画期間を3ヶ年と決めており、現在は、令和2年度から令和4年度を対象とした計画の期間に該当しています。</p> <p>計画期間の当初に3ヶ年計画を作った後は、単年度ごとに計画と実績を各</p>

	<p>課に照会して取りまとめており、今回は令和4年度の計画に対する実績についての報告となります。</p> <p>事前にお目通しいただいている部分もあるかと思しますので、中止や変更、新規追加などを中心にご説明します。</p> <p>※資料「南丹市市民参加と協働の実施計画 変更箇所一覧」に基づき、変更箇所を中心に説明。</p> <p>(主な説明内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載している100事項に対し、44事項に実績の追記 ・新型コロナウイルスの影響を受け、中止になったイベント3件 ・公募を行っていない審議会について、設置されていたが計画に報告されていなかった審議会2件について追加 <p>なお、今回は12月末時点の実績となります。</p> <p>1月以降に「南丹市情報化推進計画」のパブリックコメントが実施され、「南丹市人権尊重のまちづくり審議会」も新たに設置されていますが、最終的な実績は次回の審議会でご報告します。</p> <p>報告事項については以上です。内容について質問があれば受け付けます。</p>
委員長	<p>事務局から報告がありました。</p> <p>みなさんのご質問をお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>パブリックコメントにある「南丹市定住促進アクションプラン」の実績は次回に報告いただけると言うことでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。「南丹市定住促進アクションプラン」は実施時期が令和5年2月8日から3月2日でしたので、回答数などの実績について報告します。</p>
委員	<p>「出前講座」は申し込みがなかったと記載がありますが、例年活用が少なかったように思います。周知の仕方や申込方法などを見直し、活用してもらいやすいようにする必要があります。</p>
委員	<p>出前講座の一覧表を作成されていたかと思いますが、市民が目にする機会が少ないように思います。</p> <p>市HPに表を常時掲載しておくだけでなく、例えば、市のSNSでゴミ出しに関する案内をした時に「ごみの分別・排出方法とごみ処理の現状」があることを併せて広報したりすると、有効的ではないでしょうか。</p>
委員	<p>今SNS活用の話が出ましたが、SNSだけだと高齢者に情報が届かず、情報格差が生じる可能性もありますので、情報発信の際は紙媒体とSNSを併用して進めていただければと思います。</p>

委員	15・16ページの出前講座の一覧を見ていると、具体的に何を話してもらえるのかわからないので、記載内容についても見直した方が良いのではないのでしょうか。
事務局	「出前講座」について、様々なご意見・ご提案ありがとうございます。 「出前講座」が設置された当初は申込がそれなりにあったのですが、近年はコロナ禍の影響もあり、特に申込少ない状況です。 ご指摘の通り、周知方法や広報の仕方について、工夫があってもよいかと思いますので、担当課と共有します。
委員	コロナ禍を過ごすなかで、オンラインによるやり取りが身近なものとなりましたが、出前講座は対面のみに対応なのでしょう。
事務局	はい。地域での集まりの場に職員が出向くことを想定しておりますので、基本的に対面で行っています。
委員長	他に意見や質問などありませんでしょうか。 なければ、みなさんの意見を参考に、次年度以降の事業を工夫をしていただければと思います。 次に、協議事項「議題②「市民参加と協働の実施計画（3ヶ年計画・令和5年度計画様式）」について、事務局から説明をお願いします。

議題②「市民参加と協働の実施計画（3ヶ年計画・令和5年度計画様式）」

事務局	<p>「議題②「市民参加と協働の実施計画（3ヶ年計画・令和5年度計画様式）」について、説明します。</p> <p>実施計画は、3ヶ年を計画年に定めており、来年度からは令和5年度から令和7年度を対象とした新たな計画期間が始まります。</p> <p>本日は、前回の委員会の意見を踏まえ、様式を見直しましたので説明します。なお、今回の審議会で確認した内容で、各課に照会を行っていきます。</p> <p>まず、「市民参加と協働の実施計画（3ヶ年計画）」についてご説明します。</p> <p>(主な見直し内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度の記入欄の追加 ・実施時期の項目の削除 <p>つづいて、「市民参加と協働の実施計画（令和5年度計画様式）」についてご説明します。</p> <p>(主な見直し内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価の記入欄の追加
-----	---

	<p>評価については、各事業がどの程度達成されたか、コメント形式で記入をして貰おうと考えております。</p> <p>事業により多少の変化はありますが、基本的に「①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉や内容で周知できたか ③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）」の3点についてコメントいただくような様式にしております。</p> <p>なお、この評価部分については、委員会での審議でのみ使うこととし、市民に対しての公表は行わないことを想定しています。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>特に「令和5年度計画様式の評価」部分についてご意見いただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>事務局から説明がありました。</p> <p>「令和5年度計画様式の評価」部分について、みなさんからご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>事務的なことになりますが、全体的に文字が小さくて見ずらく、記入するのに十分なスペースがないかと思いますので、その辺りを工夫いただければと思います。</p>
事務局	<p>恐れ入ります。各課への照会時や委員会で提示させていただく際には見えやすいように調整いたします。</p>
委員	<p>評価に「③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）」とありますが、順番としては、「良かった点・上手くいった点・課題点」にした方が良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>①②③と設問を設けて回答を求める様式になっていますが、今回初めてコメントによる評価を導入することを考えると、一旦自由記述方式にした方が良いのではないのでしょうか。自由に書いてもらうことで、こちらになかった視点の評価も出てくると思いますし、そちらの方が実態に応じた内容を書いてもらえると思います。</p> <p>今回書かれている①②③の設問は例示に留め、今後運用していくなかで、必要に応じて設問の項目を作っていくのも良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>今回決めた様式は、3年間は固定で運用を予定されている者でしょうか。今ご提案があったように、必要に応じて項目の内容を修正していくことは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>様式については、軽微な変更には随時対応できればと考えております。</p> <p>また、今回は設問を設けて回答を誘導した方が確認する際に分かりやすいかと思い、このような形で提案させていただきましたが、実際のコメントを見ながら随時見直しをした方が良いとご意見をいただきましたので、設問の①②③は例示に留めます。③については「良かった点・上手くいった点・課</p>

	題点」の順番に修正します。
委員長	他に意見や質問などありませんでしょうか。 なければ、本日の意見を反映していただき、計画の照会を進めてください。 それでは、「議題③ 審議会のあり方」について事務局から説明をお願いします。

議題③「審議会のあり方」

事務局	<p>「議題③ 審議会のあり方」についてご説明します。</p> <p>これまでに、市の審議会のあり方について、本委員会内で以下のような意見をいただいております。</p> <p>(これまでの審議会で出た主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会や市民公募委員に関する情報発信不足。 ・ それぞれの審議会について運営方法等の改善点や課題点、良い点は何か現状把握する必要がある。 ・ 審議会のあり方に対する提案について(委員会の進行の仕方について課題がある、審議会の開催目的が不明確で意見が出しにくい)。 <p>これらの意見を踏まえ、今後「①アンケートの実施 ②広報チラシの発行 ③市への提言」に取り組んでいければと思いますので説明します。</p> <p>①アンケートの実施</p> <p>各審議会の現状を把握するため、昨年、公募委員向けに行ったアンケートを公募委員以外の委員にも拡大して行います。資料として、案1・案2と記載した依頼文とアンケートを添付しています。</p> <p>案1は公募委員向けの依頼文とアンケートで、記載内容等は昨年度と同様です。こちらは、令和4年度に公募を実施された「南丹市健幸まちづくり推進協議会」と「南丹市地域創生会議」の公募委員向けにアンケートを実施します。</p> <p>案2は公募委員以外を対象とした依頼文とアンケートで、案1の内容をベースに公募委員向けに特化した記述や設問を省いた内容となっています。そのため、設問の順番を一部入れ替えております。こちらは、公募委員を除く全ての委員の方を対象にアンケートを実施します。</p> <p>いまご提示した内容でよろしければ、3月中に各委員会の事務局を通じてアンケートを実施したいと思います。</p>
-----	--

	<p>②広報チラシの発行 アンケートの結果をもとに、参考資料にあります広報チラシを作成し、令和5年6月を目途に配布します。</p> <p>③市への提言 いままでに委員会で出た主な課題と提案を一旦まとめています。 今後、アンケートの結果などを踏まえて、加筆・修正して提言としてまとめていきたいと思ひます。</p> <p>説明は以上です。 今回は、特に「①アンケートの実施」の内容についてご意見をいただけたらと思ひますのでよろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>事務局から説明がありました。 アンケートの内容について、みなさんのご意見をお伺ひしたいと思ひます。</p>
委員	<p>このアンケートの目的をもう一度教えてください。</p>
事務局	<p>以前委員会で出た「公募委員や審議会についての情報発信が不足している」という意見を踏まえ、広報チラシを作成する際、委員の方の生の声を掲載するためにアンケートを実施しました。</p> <p>また、アンケートで広報に関するご意見だけでなく審議会の運営に関する意見も併せてお伺ひし、公募委員の方が審議会についてどのように思っておられるのかを把握し、市へ審議会のあり方を提言していくことも予定しておりましたが、アンケートの結果から公募委員以外の委員さんの状況も把握すべきだと前々回の委員会で意見があり、今回のアンケートを実施するに至っております。</p> <p>また、公募委員の方の数が少ないこともあり、意見として公表した時に誰の発言か特定される可能性があり、広くアンケートを取った方が良いのではという意見も併せて出ておりました。</p>
委員	<p>承知しました。</p>
委員	<p>アンケートを案1・案2と作成いただいておりますが、両案ともに自由記述欄は最後にもってきて、設問の順番は揃えてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>公募委員以外の委員の方を対象にした案2のアンケートから「委員への応募理由」の設問を削除されていますが、委員の方にも行政から個別に依頼があり委員に就任されている場合や、団体の中で選出されて委員に就任されている場合もあるかと思ひます。</p> <p>案2には「委員への就任理由」についての設問を設け、設問の数を揃えても良いのではないのでしょうか。</p>

委員	<p>どのような立場や背景で委員に就任しているかを踏まえたうえで、回答率や設問の回答内容を比較できるので面白いと思います。</p>
事務局	<p>ご提案いただいた通り、案1・案2共に設問の順番は同じにし、案2には「委員への就任理由」を追記します。</p> <p>なお、委員の方によっては、同じ方が複数の委員会の委員を兼任されている場合や、行政機関の特定の役職の立場で就任いただいている方もいますが、全ての方にアンケートを依頼する方針でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。すべての方にアンケートの依頼し、兼任されている方にも委員会の数だけ依頼を行っていただければと思います。</p> <p>なお、委員を兼任されている方のことを踏まえ、アンケートには各委員の委員会名を記載したうえで回答を依頼した方が分かりやすいかと思います。</p>
事務局	<p>承知しました。あくまでアンケートは任意回答となりますが、一旦すべての方に依頼を行いたいと思います。また、アンケートの「審議会名」欄には各委員名を入れ込んだ状態でお送りします。</p>
委員	<p>「②広報チラシの発行」に関しても意見いいでしょうか。</p> <p>この広報チラシを通して、市民の方に審議会や行政のことを自分事に感じてもらいきっかけになればと思いますが、チラシには今年度公募委員を募集する委員会について記載した方が良いと思います。もし、記載できるとしたら、どんな委員会が対象となってくるでしょうか。</p>
事務局	<p>市民参加と協働の推進計画の令和5年度の計画について照会を行い、その結果をもとに公募する委員会を記載できればと思います。</p>
委員	<p>今年度、広報チラシを配布したことで何か成果や、内外からの反応はありましたか。</p>
事務局	<p>残念ながら、チラシに関して反応はなかった状況です。</p> <p>ただ、毎年続けて発行していくことで、市民の方に審議会や公募委員について意識してもらえるきっかけになると思うので、チラシの発行は続けていった方が良いと考えております。</p>
委員	<p>チラシの発行を続けていくことは賛成です。</p> <p>ただ、もっと市民の方に手に取って見てもらえるようにチラシのデザインは工夫しても良いと思います。全体的に固い印象のチラシになっているので、楽しい感じの印象になるようにレイアウトやデザインを変えていくと良いのではないのでしょうか。</p> <p>まちづくりデザインセンターと相談しながら、デザインを見直しても良いと思います。</p>
事務局	<p>承知しました。チラシの文言や掲載すべき情報については一度委員会で確認をしておりますので、この内容をベースにデザインやレイアウトを見直し、6月を目処にチラシを配布していきたいと思います。</p>
委員長	<p>他に意見や質問などありませんでしょうか。</p>

	<p>なければ、本日の意見をアンケートや広報チラシに反映していただき、準備を進めていただければと思います。</p> <p>それでは、議題④「南丹市まちづくり活動交付金の審査方法」について事務局から説明をお願いします。</p>
--	--

議題④「南丹市まちづくり活動交付金の審査方法」

事務局	<p>「南丹市まちづくり活動交付金の審査方法」についてご説明します。</p> <p>今回は、「1. 4・5年目の申請団体の審査方法について」と「2. 審査方法の見直しについて」の2段階に分けてご提案をしますので、よろしくお願ひします。なお、今回協議した内容は、令和5年度の募集要項に反映をして募集を行います。</p> <p>まず、4年目・5年目の申請団体の審査方法についてご提案します。</p> <p>まちづくり活動交付金は、通常ですと3年間の事業を対象としていますが、「事業の継続性、自立性、社会貢献性を鑑み、事業効果があると特に認められる場合は、さらに2年間交付することができる」ことになっています。</p> <p>そのため、4年目・5年目の申請があった場合は、通常の審査項目6項目に加えて「事業効果があるのか」や「継続して支援を行う妥当な理由があるのか」について審査を行いたいと思います。</p> <p>具体的には、資料に記載している通り2つ審査項目を設けたいと思います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">審査項目</th> <th style="width: 70%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td>事業効果があるか</td> <td>3年間の取組みにより、明確な成果が出ている事業であるか。もしくは、今後、成果が見込めるものであるか。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>継続して支援を行う妥当な理由があるか ※右記いずれかに該当するか</td> <td> <input type="checkbox"/> 事業の性質上、独自に運営資金を得ることが困難な事業である <input type="checkbox"/> 行政が取り組むべき課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> 行政が網羅できない課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> その他（審議の状況により追加） </td> </tr> </tbody> </table> <p>①の「事業効果があるか」を確認するために、実績報告書を参考にする他、申請者には申請書の「今年度の実施概要」欄で過去3ヶ年の成果を踏まえて、今年どんなことをするのかを記載いただこうと考えています。</p> <p>また、②の「継続して支援を行う妥当な理由があるか」については、主に3つ理由を上げておりますが、申請事業によってはこれで網羅できないものもでてくるかと思っておりますので、その他として、事業ごとに協議を行えばと考えて</p>		審査項目	内容	①	事業効果があるか	3年間の取組みにより、明確な成果が出ている事業であるか。もしくは、今後、成果が見込めるものであるか。	②	継続して支援を行う妥当な理由があるか ※右記いずれかに該当するか	<input type="checkbox"/> 事業の性質上、独自に運営資金を得ることが困難な事業である <input type="checkbox"/> 行政が取り組むべき課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> 行政が網羅できない課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> その他（審議の状況により追加）
	審査項目	内容								
①	事業効果があるか	3年間の取組みにより、明確な成果が出ている事業であるか。もしくは、今後、成果が見込めるものであるか。								
②	継続して支援を行う妥当な理由があるか ※右記いずれかに該当するか	<input type="checkbox"/> 事業の性質上、独自に運営資金を得ることが困難な事業である <input type="checkbox"/> 行政が取り組むべき課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> 行政が網羅できない課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> その他（審議の状況により追加）								

	<p>おります。</p> <p>こちらの審査項目は、通常の「○・△・×」での評価ではなく、審査員の皆さんで1件ずつ問題がないか協議してもらい、全員の合意で「該当する・しない」の判断をしていきたいと考えています。</p> <p>4・5年目の申請団体の審査について、このような形で実施よろしいか、皆様の意見をお伺いできればと思います。</p>
委員長	<p>事務局から「4・5年目の申請団体の審査方法について」提案がありました。みなさんのご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>追加する審査項目について、この2つで良いと思います。</p> <p>また、「②継続して支援を行う妥当な理由があるか」の審査項目について、例示されている3つの視点をベースに協議するのが妥当かと思います。</p> <p>ただ、例示の3つ目「行政が網羅できない課題に対応する公益性の高い事業である」については、対象が少数になる可能性が高いので、「公益性が高い」よりも「社会的重要度の高い」と表現した方が適切ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、「行政が網羅できない課題に対応する社会的重要度の高い事業である」と文言を訂正します。</p>
委員長	<p>他に意見や質問などありませんでしょうか。</p> <p>なければ、つづけて「2. 審査方法の見直しについて」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>つづきまして、審査方法の見直しについて、説明をさせていただきます。</p> <p>南丹市まちづくり活動交付金は、令和2年度から開始し今年で3年が経ちました。審査の方法は、委員のみなさんの意見をお伺いしながら少しずつ変えては来ておりますが、一度ここで審査の流れや方法を全体的に見直したいと思えます。</p> <p>まず、令和5年度から、【プレゼン審査】を導入したいと考えています。</p> <p>これまで、申請書類と書面ヒアリングの質疑・回答を基に【書面審査】を行っていましたが、「文面上では実施内容が読み取れない」、「ヒアリングの質疑と回答の内容がずれている」と言った意見を委員の皆さんからいただいております。</p> <p>このことを踏まえ、令和5年度からは【書面審査】と【プレゼン審査】を交えた形式に審査方法を変更し、必要に応じてプレゼンによる団体の事業説明や質疑応答の場を設けていきたいと思っています。</p> <p>これまで南丹市ではプレゼン審査を設けていなかったこともあり、団体の方には負担に感じる方も出てくるかと思いますが、プレゼンを行うことで、団体の発信力を向上いただきたり、審査は公開形式で行っているため、活動を他の方にも周知してもらおう機会にもなり、団体側にもメリットのあることかと考え</p>

	<p>ています。</p> <p>どのような形で導入するかについて、案を2つ作成しております。別紙に時系列に記載した表を作成しておりますのでご覧ください。</p> <p>まず、新しい流れを提案させていただく前に、従来の流れについて確認をしたいと思います。表の一番左にあります「従来の流れ」部分をご覧ください。</p> <p>(別紙：審査の全体の流れについて「従来の流れ」に基づき説明)</p> <p>つづいて、見直し後の流れについて、案を2つ提案させていただきます。</p> <p>大きな違いとしましては、案1は従来の流れから書面ヒアリングを廃止し、申請書だけでは判断できない団体を保留団体と見なし、保留団体にプレゼン審査を行うものです。案2は、1年目～3年目の申請団体には従来通り書面ヒアリングと審査を行い、4・5年目の申請団体にはプレゼン審査のみを行う流れのものです。</p> <p>案1と、案2、それぞれの詳細を説明いたします。</p> <p>(別紙：審査の全体の流れについて「案1」と「案2」に基づき説明)</p> <p>今後、審査をどのような流れで進めるか、プレゼン審査の導入の是非も踏まえて、皆様の意見をお伺いしたく存じます。</p> <p>また、プレゼン審査を導入する際には、資料に記載しております「プレゼン審査を導入する際の方針について」、審査委員のみなさんの考えをお伺いできればと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>事務局から「審査方法の見直しについて」提案がありました。</p> <p>みなさんのご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。</p> <p>まず、プレゼン審査の導入の是非について、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>団体によっては、書面ヒアリングで聞きたいことが上手く伝わらないことがあったので、プレゼンの質疑応答で直接確認できるのは良いと思います。</p>
委員	<p>プレゼン審査は公開で行うとのことですが、どの程度の公開を想定されていますか。</p>
事務局	<p>この委員会と同様に対応したいと思っています。</p> <p>なので、場合により傍聴人が居る。と言う状態です。</p>
委員	<p>申請団体が自分の団体以外のプレゼンを見れる状態なので良いと思います。</p> <p>プレゼン審査を導入することで、団体が自分たちの活動や思いを整理し、発信していく力を培えるので良いと思います。</p>
委員長	<p>では、プレゼン審査を導入する方向で、案1・案2どちらの流れで進めるか、みなさんのご意見をお伺いしたいと思います。</p>

委員	案1の書面ヒアリングを廃止し、プレゼン審査を実施していく方法で良いと思います。
委員	<p>全体の流れとしては、事務局で申請書に対し「A：問題なし B：一部協議が必要な部分あり C：全体的に協議が必要」の3段階評価を付けていただき、それを参考に委員が申請書類を読み込んだうえで協議し、交付・不交付・保留（プレゼン審査対象）を決めていく。</p> <p>保留（プレゼン審査対象）になった事業に対しては、審査会で改めて「B：一部協議が必要な部分あり C：全体的に協議が必要」の2段階評価を付けると言った流れで良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	承知しました。案1をベースに、今のご意見を反映した流れに整えます。
委員	プレゼン審査はどの位の時間配分で想定されていますか。
事務局	説明5分、質疑応答10分の計15分を想定しています。
委員	プレゼンを行うにあたって、団体に資料を作成していただくことになると思いますが、どのような資料を求める想定ですか。
事務局	<p>資料の作成については、団体に一任しようと考えています。</p> <p>口頭での説明を基本に、ホワイトボードを使う、プロジェクターを使う、追加資料を配布するなど自由に手段を選んでいただくことを想定しています。</p>
委員	プレゼンの準備期間を設けるために、7月の審査会から8月の審査会（保留対象）までにある程度の期間を設けておいた方が良いと思います。
委員	期間を設けることも必要ですが、プレゼン審査の日は募集要項に明記すべきではないのでしょうか。
事務局	<p>承知しました。審査会の日程について、みなさんのご予定を確認し追記いたします。また、それぞれの審査会の開催日には、ある程度の期間を設けたいと思います。</p> <p>なお、プレゼン審査を導入するにあたり、5点ほど方針を確認したく存じます。</p> <p>※「プレゼン審査を導入する際の方針について」以下の通り委員から意見あり。</p> <p>①開催日の考え方 ・まずは平日・日中で開催し、今後の状況によって見直していく。</p> <p>②出席できない団体があった場合の対応 ・不交付。募集段階で日を提示しているので、原則対応いただく。</p> <p>③プレゼンで申請書に記載されていない内容に言及された時の対応 ・「申請書に事務局で内容を追記する」、「交付決定通知に条件として記載する」など、事務局と団体双方で認識にブレがでないような方法を検討していただきたい。</p>

	<p>④プレゼン審査中に行う質疑内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間も限られているので、事業内容などの確認がベースになると思うが、場合によってはアドバイスも必要になる。プレゼン審査を実施していくなかで、必要であればルールを設けていく。 <p>⑤保留以外の団体のプレゼン対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望があった場合には実施しても良いと思う。 ・申請件数によって、対応できるかできないか検討してはどうか。 ・保留事業を対象とした審査会で、交付決定団体のプレゼンの時間を設けると、良い事例として提示できる一方、審査会の目的がぶれる可能性もある。報告会など別に発表の場を設けることも検討して良いと思う。 <p>ありがとうございました。</p> <p>いただいた意見を参考に、プレゼン審査のルールや進め方を整理していきます。</p>
委員長	<p>他に意見や質問などありませんでしょうか。</p> <p>なければ、本日の意見を反映していただき、募集要項や審査会の準備を進めていただければと思います。</p> <p>予定しておりました内容については以上です。進行を市へお返しします。</p>

4. 閉会

事務局	<p>委員の皆さま、貴重な意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。</p> <p>本日の意見を踏まえ、さらに市民活動が活発化するような取り組みを進めてまいりたいと思います。それでは、以上をもちまして、南丹市市民参加と協働の推進委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
-----	--